

(報道資料)

肥満の解消や適正体重の維持にかかわる研究・活動を支援 公益信託 タニタ健康体重基金 2013年度の助成対象者を決定

2013年10月3日

株式会社タニタ

株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）が創設した「公益信託 タニタ健康体重基金」の2013年度助成対象者が決定しましたのでお知らせします。本基金は、肥満をなくすためのすぐれた研究や活動について助成する制度で、肥満やこれに起因する生活習慣病の解消による生活者福祉の向上を目的に、1994年に創設しました。研究・活動課題は「肥満の解消や適正体重の維持に関する研究」と「肥満の解消や適正体重（健康体重）の維持に関わる実践的な活動」。今年度は国内外から63件（国内15件、海外48件）の応募があり、質が高く先進的な研究テーマが多数寄せられました。学識経験者らからなる運営委員会の厳正な審査の結果、8件を助成先に決めました。なお、国内の助成者を対象とした贈呈式を12月5日にタニタ本社で行う予定です。

助成先および助成対象の研究・活動テーマは次の通りです。

【国内】

①研究助成

大澤 祐介（おおさわ ゆうすけ）氏

東京大学 独立行政法人日本学術振興会 特別研究員PD

「サルコペニア肥満予防に貢献する因子を検討する前向きコホート研究 一超高齢者を対象にした健康長寿に寄与する有力バイオマーカー、サルコペニア肥満関連因子、運動機能および生活習慣に着目して一」

徳原 大介（とくはら だいすけ）氏

大阪市立大学大学院 医学研究科 発達小児医学 講師

「肥満小児の非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）に対する非侵襲的評価システムの構築とそれを基盤とした肥満症への治療戦略の検討」

杉山 真理（すぎやま まり）氏



埼玉県総合リハビリテーションセンター 主任

「立位困難者の体脂肪率・安静時代謝量等の測定 —生活習慣病予防・治療にむけての研究」

②活動助成

該当なし

【海外】

①研究助成

ヴォイチェフ・ブロゴヴスキー氏

ポメラニアン医科大学 消化器病学部 医学博士（ポーランド）

「人体における特定面での『骨-脂肪軸』（bone-fat axis）機能に関する探究」

ディアンナ・L・ウォラス氏

カリフォルニア大学バークレー校 ヘレンウィリス神経科学研究所 博士研究員（米国）

「前頭前皮質（PFC）—線状体系のモジュレーションが食物選好に及ぼす作用」

マリカ・ボルディッキア氏

マルケ州技術専門大学 臨床分子科学部 国立保健老年学研究所 老年内科 医学博士（イタリア）

「心ナトリウム利尿ペプチド系：肥満および2型糖尿病の制御」

アダマンティニーニ・キリアコウ氏

ハロコピオ大学 栄養学・食品学部 准教授（ギリシャ）

「腸内微生物相、肥満、食事：考えられる影響を調べる」

②活動助成

チャド・モリス氏

ロアノーク大学 社会学部 人類学 准教授（米国）

「パラオ共和国に健康的な食品調理と家庭菜園を推進する地域力を築く」

報道資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。